令和７年（2025年）２月

建設環境委員協議会資料

環境部環境政策課

案件

ひらかたゼロカーボン推進事業（効率的なエネルギー調達と再生可能エネルギー導入）の事業者選定について

１．政策等の背景・目的及び効果

本市では、市有施設における再エネの導入拡大等による脱炭素化に向けて、各施設の電力購入契約を一本化していき、効率的にエネルギー調達を行うとともに、それに伴う経済的なスケールメリットを活かしながら、再エネの導入、省エネの促進などの取り組みを一体的に実施していくため、公募型プロポーザル方式による事業者選定を進めてきました。

この度、本市の附属機関であり、有識者で構成される「枚方市公共施設への電力供給等業務事業者選定審査会」（以下、「選定審査会」という。）より、最優秀提案者の答申を受けたことから、選定の結果等について報告するものです。

２．内容

（１）事業名

ひらかたゼロカーボン推進事業（効率的なエネルギー調達と再生可能エネルギー導入）

（以下、「本事業」という。）

（２）本事業の概要及び事業期間

事業名	本事業の概要及び事業期間
① 市有施設電力調達業務	・高圧受電の市有施設の内、105施設一括調達 ・契約締結日から令和12年３月31日（予定）（５年間）
② 市有施設太陽光発電設備導入(PPA）事業	・３施設（第一学校給食共同調理場、渚市民体育館、杉中学校）に太陽光発電設備を設置 ・契約締結日から令和30年３月31日（予定） （整備完了期限　令和９年12月／運転期間 20年間）
③ 市有施設照明設備改良事業	・①の対象施設の内、小中学校を除く未改修の14施設の照明設備のＬＥＤ化 ・契約締結日から令和10年３月31日（予定）（３年間）

（３）事業者選定の概況

本事業の事業者を選定するため、令和6（2024）年9月26日に選定審査会に諮問しました。

募集要項等については、選定審査会の意見を踏まえ、内容を確定し、令和6(2024)年10月8日から10月25日までの間、公募を行った結果、応募者は１者でした。

①応募者

ＨＩＲＡＫＡＴＡ２０５０ネットゼロコンソーシアム

②枚方市公共施設への電力供給等業務事業者選定審査会

	氏　名	分　野	所　属
会　長	花田　眞理子	環境経済	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 客員研究員
副会長	鍋島　美奈子	エネルギー	大阪公立大学大学院工学系研究科　教授
委　員	石橋　洋平	財務	税理士法人　天の川パートナーズ
委　員	前川　智則	行政	大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課 課長補佐
委　員	益田　響	法律	江口・浅野法律事務所

③選定審査会での審査概要

事業者選定の経過

令和6（2024）年9月26日	第１回選定審査会開催 ・選定審査会への諮問 ・募集要項、要求水準書及び評価基準基等について審議 ・プレゼンテーション実施方法について審議
令和7（2025）年1月16日	第２回選定審査会開催 ・応募状況等の報告 ・提案書の内容についてのプレゼンテーション実施 ・最優秀提案者等についての審議 ・選定審査会からの答申
令和7（2025）年1月23日	最優秀提案者の決定

選定審査会において、応募者から提出された提案書の内容が要求水準書に掲げた条件を満たしているかについて審査が行われ、要求事項を満たしていることが確認されました。

また、提案書に記載されている内容について、応募者のプレゼンテーションを実施し、応募者への質疑を行った後、選定基準の要求事項の項目ごとに評価を行い、業務実績、企画提案及び価格提案について総合評価を行いました。

④評価方法

評価については評価基準により、業務実績、企画提案及び価格提案について、それぞれ点数化し、それらを合算する総合評価方式で行いました。業務実績と企画提案で600点満点、価格提案は400点満点とし、これらの合計1,000点満点で評価を行いました。

⑤選定審査会での主な意見

応募者：ＨＩＲＡＫＡＴＡ２０５０ネットゼロコンソーシアム

事業全体	・本事業の目的・内容を踏まえた適切な取組方針・取組内容が示されており、全国的にも先進的な本事業による十分な効果が期待できる提案であった。 ・本事業を遂行するための実施体制は、各事業において十分な実績を有する企業で構成されているとともに、代表企業と構成企業の役割が明確に示されており、高く評価できるものであった。 ・本事業は、長期的な事業となるため、コンソーシアム内の連携に加え、市とも密に連携し、事業を進めていくことでより高い効果を発揮することを期待したい。
市有施設電力調達業務	・安定した経営基盤を有する事業者であり、電力の安定供給が期待できる点を高く評価した。 ・再エネ電力メニュー加入者に対して実質再生可能エネルギー100%の電力供給を実現している実績があり、安定的に十分な量の実質再生可能エネルギー100%の電力調達が可能である点を高く評価した。
太陽光発電設備導入（PPA）事業	・約500件にのぼる非常に多くのPPA事業の実績を有する事業者であり、長期にわたる事業継続が期待できる点を高く評価した。また、導入設備には、発電効率の高い太陽光パネルと変換効率の高いパワーコンディショナを選定しており、本市にとって有益な提案となっている。 ・施設の特徴を踏まえたうえで、パネルの設置方法及び容量選定等が検討されている点も高く評価した。
市有施設照明設備改良事業	・枚方市での施工実績を多く有し、本社を枚方市内に構える電気工事会社が事業責任者となる提案であった。工事関係においては、全て枚方市内の事業者を活用する計画とされているなど、枚方市の方針に沿った市内事業者の積極的な活用により地域の活性化を期待できる点を高く評価した。 ・使用予定機器には、低価格で省エネ効果や品質の高い製品を選定しており、十分な効果が期待できる。

（４）最優秀提案者の選定

選定審査会における審査結果により、下記のとおり選定する旨の答申が提出されました。

最優秀提案者：　①ＨＩＲＡＫＡＴＡ２０５０ネットゼロコンソーシアム

総合評価結果

評価項目	業務実績	企画提案	価格提案	合計点
配　点	100　点	500点	400点	1000点
①得　点	92.5点	369点	400点	861.5点

提案価格

事業名	市有施設電力調達業務	市有施設太陽光発電設備導入（PPA）事業	市有施設照明設備改良事業
事業者	関西電力株式会社	関西電力株式会社	株式会社橘電気工事 株式会社エネ・グリーン大阪支社
提案価格	3,858,999,479円※ ・R7年度～R11年度の基本料金、電力量料金の合計金額	49.07円/kWh ・各施設のサービス単価の加重平均値	412,500,000円 ・R7年度～R9年度の合計金額

※応募者が提案時に示した事業費であり、今後の詳細協議により契約額を決定します。

３．実施時期等（予定）

≪今後の予定≫

令和７年(2025年)	２月	建設環境委員協議会において報告
		コンソーシアムと基本協定を締結
		電力供給事業者及びＰＰＡ事業者と電気需給契約を締結
		市有施設照明設備改良事業者と工事請負仮契約を締結
	３月	定例月議会において市有施設照明設備改良事業に係る工事請負契約案件を提出
	４月～	一括契約した電力の供給開始
令和７年度(2025年度)～９年度(2027年度)		市有施設照明設備改良設計・工事
令和８年度(2026年度)～９年度(2027年度)		太陽光発電設備設置工事

４．総合計画等における根拠・位置付け

総合計画

基本目標　　自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち

施策目標27　地球温暖化対策に取り組むまち

５．事業費・財源及びコスト

《事業費》令和６年度～９年度（債務負担設定）

（支出内訳）市有施設照明設備改良事業に係る工事費　　５０７,８２３千円

年度	金額
令和６年度	０千円
令和７年度	１９０,２２３千円
令和８年度	１５７,２００千円
令和９年度	１６０,４００千円

《財　源》　一般財源　５０，９２３千円

市債（脱炭素化推進事業債等）　４５６，９００千円

６．参考資料

参考資料①　最優秀提案者の提案の概要

参考資料②　ひらかたゼロカーボン推進事業（効率的なエネルギー調達と再生可能エネルギー導入）審査結果報告書

参考資料①

最優秀提案者の提案の概要

評価項目		提案概要
１．事業全体		
事業全体の実施体制について	実施体制	・代表企業が枚方市との総合窓口、事業統括、各事業における進捗管理を実施します。また、太陽光発電設備導入事業および市有施設電力調達業務を構成企業として行います。市有施設照明設備改良事業については、施工業務を構成企業 A、設計業務・工事監理業務を構成企業 B が行います。 ・太陽光発電設備導入事業および電力調達業務は、多くの PPA 事業を手掛けてきた電力会社が代表企業となり担当します。照明設備改修事業は、枚方市内の公共工事において多くの施工実績を持つ地元の電気工事会社である構成企業 A が施工を行い、全国の公共工事（LED 照明改修工事含む）において多くの設計実績、工事監理実績を有する構成企業 B が設計・工事監理業務を務めます。
事業全体の取組方針について	取組方針	・枚方市地球温暖化対策実行計画に則り、構成企業 A と協力して LED 化を促進し、省エネを図ると共に適正な容量を見極めた太陽光発電設備により創エネを行います。また、ご使用いただく電気は、カーボンフリーの電力を安定的かつ低廉な価格でご提供します。 ・本事業は事業者の参加意欲を高めるとともに、公共施設における「調達業務の効率化」「安定調達」「脱炭素」が同時達成でき、自治体と事業者の双方にメリットが生まれる仕組みとなっています。 ・運用会議を開催し、貴市および各事業者の相互理解のもと円滑なコミュニケーションを図り、事業を展開いたします。
脱炭素の取組を活用した地域貢献について	環境教育・環境学習	・事業パネルを制作し本庁舎などに展示することにより、貴市のゼロカーボンに向けた積極的な活動と環境に配慮した前向きな姿勢を PR いたします。 ・太陽光発電設置個所に発電量などを確認できるディスプレイを設置し、経済性･環境性に貢献している様子を定量的に PR します。 ・「ため池を活用した再生可能エネルギーの地産地消の取組」を活用し、貴市教育委員会と連携の上、小学校中学年向け環境教育メニューの考案に寄与します。 ・本事業や貴市の取組みを紹介した環境出前授業を、ご要望に応じて実施を検討いたします。

評価項目		提案概要
２．市有施設照明設備改良事業		
個別事業の実施体制について	実施体制	・豊富な施工実績をもつ地元の電気工事会社と全国で多くの設計・監理実績をもつ設計事務所で構成しております。個別の業務でも適宜連携し、確実に業務を遂行してまいります。
	緊急時の対応	・構成企業にて緊急時対応マニュアル、緊急時連絡体制を作成し、緊急時には関係者と連携しながら迅速かつ適切に対応します。
	市内事業者の活用	・枚方市内に本社を有している電気工事会社が事業責任者となります。事業責任者を中心に、本事業に関する電気工事、内装工事、足場工事等についても枚方市内の事業者を積極的に活用します。また、関連する事業者より下請業務引受確約書、関心表明書を受領しております。
リスク・課題への対応について	リスクへの対応	・想定リスクと対応方法については検討済みでありますが、想定外のリスクが顕在化した場合も対策会議等で各業務責任者と連携して対応します。
	供用中の施設への配慮	・貴市担当者や施設の職員等としっかりと事前協議を行い、施設の特徴や運営状況に配慮した作業といたします。また、施設を休業せずに運営しながらの「居ながら工事」を基本としますが、対応できない箇所については、夏休み施工や休館日施工で実施してまいります。
設計・施工・工事監理業務について	工程計画	・工程計画のとおり、貴市の承認や検査に余裕をもったスケジュールとしています。
	調査・設計	・施設の職員との対話により改善要望等のヒアリングに努めます。また、取付位置等の変更要望があった場合は、貴市担当者に相談の上、対処してまいります。
	使用機器の選定	・明るさを維持したまま省エネが図れるよう器具の選定を行っております。また、高天井には長寿命タイプの製品を採用し、市民センター等には一部映光色タイプの製品を採用しております。
	安全性の確保	・下請事業者を含む関係者全員が一体となった安全対策をもって施工します。特に重大災害が予想される高所作業においては、有資格者による足場の組立やフルハーネス特別講習を修了している作業員が作業に従事します。
	品質管理	・品質を確保するために様々な目線で複数回チェックできるよう検査体制を整えています。また、試験方法や基準についても、電気設備技術基準を遵守した設計施工としております。
	環境への配慮	・施設の職員や利用者に配慮した施工に努めます。また、４Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔）チェックを徹底し、現場美化に努めてまいります。

評価項目		提案概要
３．市有施設太陽光発電設備導入（PPA）事業		
個別事業の実施体制について	実施体制	・豊富な実績を持つ事業者が協力して本事業を遂行します。具体的には、PPA 事業を約 500 件実施している代表企業が事業を遂行します。
	緊急時の対応	・事前に関係者の連絡先を記載した連絡体制表を作成し、故障・緊急時に備えます。また、遠隔で 24 時間 365 日運転監視を行います。万一、異常または故障が発生した場合は、電気主任技術者と連携し、早期復旧に向けて対処します。
リスク・課題への対応について	リスクへの対応	・代表企業の直近 5 ヵ年における経営状況は安定しています。事業中のリスク対策については、各種保険、故障を考慮した設備構築により、リスク低減を図ります。また、荷重・防水を考慮した工法で施工します。自重、風、積雪、地震に対しては、各種設計標準に準拠した仕様にて設計・施工します。
	事業の安定性	・事業資金の健全性は非常に高いと考えます。太陽光発電設備は 20 年間保証を行います。貴市および施設関係者と連携を図り、契約から設計、施工、維持管理まで遂行します。
施設の計画方針	施設計画	・太陽光発電設備は、既存設備の保安管理に支障のない設備配置、配線ルートとします。 ・パネルの設置にあたり、受注後に、日影や反射光、輻射熱等を詳細に検討して選定します。周辺建物や自然環境への影響に配慮します。騒音についても、学習環境等に影響を与えないように配慮します。 ・スケールメリットによるコスト軽減を図ると共に、経済性と CO2 削減を両立できるパネル容量を選定しています。また、３施設すべてに太陽光発電ディスプレイを設置するため、発電量などをリアルタイムで確認できます。
	導入設備の仕様	・各施設の電力需要を鑑み、図面と現場調査から最大限設置できるパネル容量を、施設毎に選定しています。PCS 容量は、発電電力を有効に利用できる容量としています。 ・本事業で導入する発電設備は、要求水準書を満たした仕様であり、太陽光パネルは、発電効率の高い製品で、周囲の景観にも配慮しております。また、ＰＣＳは、変換効率が高い、トップクラスの効率です。
	設備設置仕様	・太陽光パネルは屋上に設置し、付帯設備は学生や施設利用者の利用や積載荷重に対する強度の余力に配慮して設置します。さらに、太陽光発電設備は、各施設の構造計算書に記載の、屋根上の積載荷重に対して設置可能であることを確認しています。
施工・維持管理業務について	工程計画	・工程計画は各関係者と協議の上、既設設備等の保守点検や維持管理に支障のないことを前提とし、令和９年 12 月末までの竣工を厳守します。また、「施工計画書」「施工手順書」および「施工工程表」を作成し、事前に各関係者と協議します。

評価項目		提案概要
	安全性の確保	・施工期間中は「安全対策書」を作成し、安全管理に配慮します。さらに、各施設の特徴にあわせた実施計画とし、施設利用者や関係者の災害を防ぎます。
	品質管理	・現場代理人が責任者として施工上必要な工程管理や作業の指導管理を行います。工事監理チェックリストを用いて監理し、品質を確保します。
	維持管理計画	・遠隔監視システムによる発電状況の常時監視に加えて、定期点検を確実に実施することで故障の未然防止を図ります。十分な発電量が確保できない場合は発電量の改善を図ります。また、部品交換も定期点検結果の管理を徹底し、適切な時期に行います。
	環境への配慮	・騒音や振動が発生する工事は貴市および施設関係者と綿密に調整し、休館日の実施も検討したうえで行います。
４．市有施設電力調達業務		
個別事業の実施体制について	実施体制・スキーム	・長きに渡り関西エリアでの電力事業を担ってきた代表企業が電力調達業務を担います。豊富な営業ノウハウをもつ代表企業の営業担当を専任配置のうえ、契約協議等の窓口対応をさせて頂きます。さらに、対象施設につきまして、電気料金等のエネルギーコスト最小化に向けたコンサルティングを実施致します。
	緊急時の対応	・代表企業は専任営業担当に加え、お問い合わせ窓口（電話・メール）を設置し、ご契約・停電等のお問い合わせに対応できる体制を構築しており、枚方市さまに対して万全のサポートをご提案します。
実施方針について	リスクへの対応	・2023 年度の経常利益に関しては､燃料価格の低下などに加え､販売電力量収入の増加等により過去最高益となっております。リスクへの対応として、コンプライアンスの徹底、お客さま情報の取扱いの徹底、サプライチェーンの適正化を図っております。
	事業の安定性	・電力安定供給の取組みとしまして、｢原子力｣｢火力｣｢水力｣「太陽光発電等の再生可能エネルギー」等の多様な電源をバランスよく組み合わせた電源調達を行います。また、代表企業の発電部門からの調達だけでなく、様々な発電事業者からの調達も志向し、多種な電源を確保していくことで、料金の価格変動をヘッジしながら、安定的に電気をお届けしていくことを目指してまいります。
	再エネ電力の調達の考え方	・当社再エネ電力メニューにおける非化石証書（再エネ指定）の調達先は非化石価値取引市場から取得する「市場取引」と発電事業者から直接取得する「相対取引」を組み合わせており、調達の安定性を図っております。2018 年 10 月の制定以来、再エネ電力メニューにご加入頂いたお客さまに対して、再生可能エネルギー電気 100%の調達を実現しております。これらの実績から、５年の契約期間にわたって、安定的に十分な量の再エネ電力の調達が可能であると考えております。

参考資料②

ひらかたゼロカーボン推進事業

（効率的なエネルギー調達と再生可能エネルギー導入）

に係るプロポーザル

審査結果報告書

令和７年１月

枚方市公共施設への電力供給等業務事業者

選定審査会

令和７年１月 29 日

枚方市公共施設への電力供給等業務事業者選定審査会
会長　花田　眞理子

ひらかたゼロカーボン推進事業（効率的なエネルギー調達と再生可能エネルギー導入）に係るプロポーザルについて、次のとおり審査結果を報告します。

1.　審査結果

枚方市公共施設への電力供給等業務事業者選定審査会（以下「審査会」という。）は、評価基準に基づき厳正に審査した結果、次のとおり最優秀提案者を選定しました。

最優秀提案者：HIRAKATA2050 ネットゼロコンソーシアム
代表企業　株式会社関西電力　　　　　（提案書番号　K-3）

〈審査結果〉

評価項目	提案書番号 K-3
①業務実績	92.5　点
（基礎点）	25　点
市有施設照明設備改良事業の実績	25　点
市有施設太陽光発電設備導入（PPA）事業の実績	17.5　点
市有施設電力調達業務の実績	25　点
②企画提案	369　点
（基礎点）	125　点
事業全体に関する企画提案	16　点
市有施設照明設備改良事業に関する企画提案	65　点
市有施設太陽光発電設備導入（PPA）事業に関する企画提案	65　点
市有施設電力調達業務に関する企画提案	98　点
③価格提案	400　点
（基礎点）	100　点
市有施設照明設備改良事業に関する提案価格	85　点
市有施設太陽光発電設備導入（PPA）事業に関する提案価格	85　点
市有施設電力調達業務に関する提案価格	130　点
総合評価点（1000 点満点）	861.5　点

2. 枚方市公共施設への電力供給等業務事業者選定審査会

	氏名	所属等
会　長	花田　眞理子	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 客員研究員
副会長	鍋島　美奈子	大阪公立大学大学院工学系研究科 教授
委　員	石橋　洋平	税理士法人天の川パートナーズ 税理士
委　員	前川　智則	大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課 課長補佐
委　員	益田　響	江口・浅野法律事務所 弁護士

3. 最優秀提案者等の選定までの経過

日程	実施事項内容
令和６年 10 月　７日（月）	公告
令和６年 10 月 10 日（木）～ 令和６年 10 月 18 日（金）	現地確認
令和６年 10 月 15 日（火）正午	質問締切（第一次審査の書類に関する質問）
令和６年 10 月 21 日（月）	質問回答（第一次審査の書類に関する質問）
令和６年 10 月 25 日（金）	参加表明書及び第一次審査の書類提出期限
令和６年 10 月 25 日（金）	質問締切（第二次審査の書類に関する質問）
令和６年 11 月　１日（金）	質問回答（第二次審査の書類に関する質問）
令和６年 11 月　１日（金）	第一次審査の審査結果に関する通知
令和６年 11 月 22 日（金）正午	第二次審査の書類提出期限
令和６年 12 月 12 日（木）	プレゼンテーション・ヒアリング出席依頼
随　時	提案書類に関する委員からの事前質問に対する 事業者の回答を各委員へ共有
令和７年　１月 16 日（木）	プレゼンテーション・ヒアリング

4. 審査経過

(1) 第１回審査会

期日　令和６年９月 26 日（木）

場所　枚方市役所　別館４階　特別会議室（WEB 併用）

案件　①会長、副会長の選任について

②諮問

③審査会の運営について

④ひらかたゼロカーボン推進事業（効率的なエネルギー調達と再生可能エネルギー導入）に係る事業者選定について

a. 要求事項について

b. 要求水準書について

c. 事業者選定に係る評価基準について

⑤プレゼンテーションの実施方法について

⑥その他

(2) 第２回審査会

期日　令和７年１月 16 日（木）

場所　枚方市役所　第３分館３階　第４会議室

案件　①報告

a. 第一次審査の結果及び提案書の提出状況について

②案件

a. プレゼンテーションについて

b. 評価結果について

c. 答申について

③その他

5.　審査概要

本プロポーザルは、審査過程において提案内容を中立、公正に審査するため、応募者提出書類には提案書番号を付け、応募者名を伏せた上で審査を行いました。

（審査の経過）

第一次審査に関する書類を提出した１団体について、募集要項に示す参加資格要件を満たしていることを確認した上で、第一次審査の審査結果の通知を行い、その後、提出された第二次審査に関する書類を評価基準に基づき審査を行いました。また、企画提案書に基づくプレゼンテーション・ヒアリングについても応募者名を伏せて行いました。

プレゼンテーション・ヒアリング終了後、評価基準に基づき各提案内容について審議し、合議により評価点の決定を行い、各業務について最低点以上の評価点を得たことを確認しました。これにより「業務実績評価点」「企画提案評価点」「価格提案評価点」から成る総合評価点を決定し、応募者を最優秀提案者に選定しました。

6.　審査講評

【事業全体】

提案は、2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言や枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の趣旨を理解したうえで、本事業の目的・内容を踏まえた適切な取組方針・取組内容が示されており、全国的にも先進的な本事業による十分な効果が期待できる提案でした。

また、本事業を遂行するための実施体制は、照明設備改良事業、PPA 事業、電力調達業務の各事業において、十分な実績を有する企業で構成されており、代表企業と構成企業の役割が明確に示されており、高く評価できるものでした。本事業は、長期的な事業となるため、コンソーシアム内の連携に加え、市とも密に連携し、事業を進めていくことでより高い効果を発揮することを期待します。

環境教育に関する提案は、多様な情報提供を行うことで市の取り組みを広く周知するものでありました。一方で、環境問題は、長期に渡る課題であることから、広い視野をもって日常生活との関わりを肌で感じるような取組を行っていただき、次世代を担う子どもたちに広く浸透し、シビックプライドの醸成につながるような、一歩踏み込んだ展開を期待します。

さらに、本事業を通じて、市全体の再エネ導入、ゼロカーボンへの取組に対するコンサルティングを行う提案に関しても、市の取組を加速させるものであり、非常に期待しております。

【照明設備改良事業】

枚方市での施工実績を多く有し、本社を枚方市内に構える電気工事会社が事業責任者となる提案でした。特に、工事関係においては、全て枚方市内の事業者を活用する計画とされているなど、枚方市の方針に沿った市内事業者の積極的な活用により地域の活性化を期

待できる点を高く評価しました。加えて、供用中の施設に対して、居ながら工事や夏休み時・休館日等、施設の運営状況に配慮した施工を計画しており、調査・工事を安全かつ円滑に実施する工夫がみられる提案となっていました。

また、使用予定機器には、低価格で高品質な製品を選定しており、省エネ性能が高く、十分な効果が期待できると考えます。

【PPA 事業】

約 500 件と非常に多くの PPA 事業の実績を有する企業が代表企業となっており、長期にわたる事業継続が期待できる点を高く評価しました。また、導入設備には、発電効率の高い太陽光パネルと変換効率の高い PCS を選定しており、本市にとって有益な提案となっている点も評価しております。さらに、各施設の調査を行い、施設の特徴を踏まえたうえで、パネルの設置方法及び容量選定等が検討されている点も高く評価しております。

太陽光パネルの設置だけに留まらず、本事業を機に、市内の小中学生に対して、環境教育を実施できる体制構築を期待しております。

【電力調達業務】

安定した経営基盤を有する企業が代表企業となっており、電力の安定供給が期待できる点を高く評価しました。特に、2018 年 10 月の制定以来、再エネ電力メニュー加入者に対して実質再生可能エネルギー電気 100％の電力供給を実現している実績があり、安定的に十分な量の実質再生可能エネルギー100％の電力調達が可能である点を高く評価しました。

緊急時の体制として、代表企業において、専任営業担当に加え、お問合せ窓口が設置されており、柔軟に対応できる体制が構築されている点も高く評価しました。

7. その他

枚方市は、ごみの排出量が少ないことで、他の自治体から注目をされておりますが、本事業は全国的にも先行的な取組であるため、本事業においても、全国的な動きのきっかけ、また、他自治体のモデルケースとなり、注目されることを期待しております。

第２回審査会におけるヒアリングを通じて、いくつかの課題も見受けられましたが、課題に対する委員からの助言を真摯に受け止め、対応されることを期待します。

最後に、本事業にご参加いただいた応募者の皆様におかれましては、限られた期間の中、貴重な時間を費やし、質の高いご提案をいただいたことに対しまして、審査委員一同より敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

以上